

サウジアラビア 超大型プラントの日常保全業務で更新契約を締結

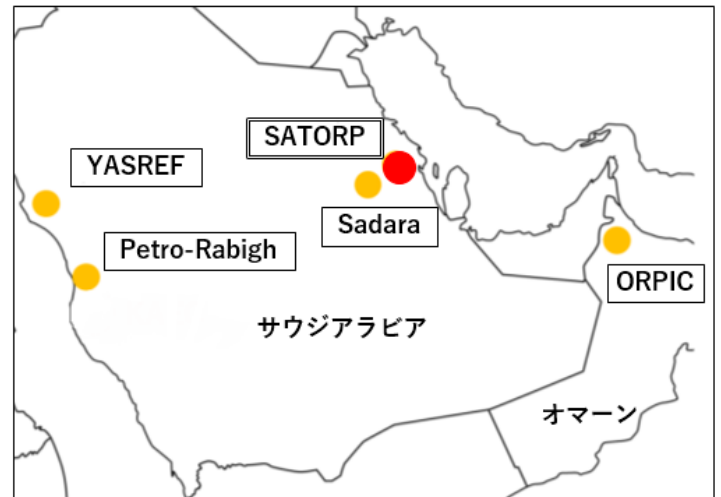
山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村公大）の海外現地法人山九サウジアラビアは、2022年5月22日に SATORP 社^{*}とサウジアラビアの製油所における日常保全業務について7年間の新規契約をいたしました。

契約内容は、SATORP 社の運営する超大型石油精製プラント「ジュベール製油所」における日常保全業務となります。

2012年に現地の合弁会社山九 ARCC（山九 51%、ARCC49%）が同内容について契約いたしました。が、契約完了をもって、山九サウジアラビア（山九 100%）が新規契約を結ぶこととなりました。

当社は2008年にサウジアラビアのラービグにおける石油化学プラントの保全業務受注を皮切りに、サウジアラビアに現地法人を設立しました。その後各地で拠点を拡大し、2016年にはオマーンに進出し、現在5つの現場（サイト）において石油・石油化学プラントを中心とした物流業務、操業支援、日常保全業務を行っております。今回の新規契約締結は、これまでの当社の実績と技術・技能が評価されたことによるものです。

今後も山九グループは中東におけるエンジニア・テクニシャンの人材育成と信頼性の高いメンテナンス技術・技能の構築など事業展開を拡大してまいります。



2022年5月22日調印式

右：SATORP 社 President & CEO Sulaiman M. Ababtain

左：山九株式会社 代表取締役社長 中村公大

※SATORP 社：Saudi Aramco Total Refining and Petrochemical Company

サウジアラムコ社（サウジアラビア）とトータル社（フランス）が設立した合弁会社